

# 01 「グローバルフェスタJAPAN2009」開催

10月3・4日、恒例の「グローバルフェスタJAPAN2009」(主催：外務省・JICA・国際協力NGOセンター)が東京・日比谷公園で開催されました。2日間で来場者9万人(累計)を突破するなど、名実ともに日本最大級のお祭りとして盛り上がりました。

JICAも、イベントステージや広報テントで、多彩なプログラムを実施。相談窓口として設けた「JICA Cafe」には、国際協力のキャリアやボランティアに関する相談に、多くの市民が訪れました。

サブステージでのトークイベント「日本も元気にする協力隊トーク」では、開発途上国での経験を生かし、日本でさまざまな活動を行っている青年海外協力隊OB・OGが、日本の地域活性化に欠か



パレスチナの現状について話したミニトークライブ



多くの人々にぎわうJICA広報テント

せない視点などについて議論しました。また、来日中のJICA研修員が各国の文化や習慣を紹介するクイズなども行いました。

メインステージでは、医師の桑山紀彦さんがパレスチナやアフリカで出会った人々や風景を、音楽と映像で伝える「地球のステージ」を開催。紛争の影響や貧困に苦しみながらも、懸命に生きる人々や子どもたち、彼らを支えようと奮闘する協力隊員やJICA職員の様子が伝えられ、たくさんの方が見入っていました。その後は、「パレスチナ」をテーマに、桑山さん、成瀬猛・前JICAパレスチナ事務所長、協力隊短期隊員としてパレスチナで活動した松田弥栄さんによるミニトークライブも開かれました。

# 02 テニスラケットを途上国へ



野地俊夫トーナメント・ディレクターからクルム伊達さんにラケットが手渡された

9月25日〜10月3日に東京・有明コロシアムで行われた「東レパン・パシフィック・テニス」で、観客が大会期間中に持ち寄ったラ

ケットが、JICAの「世界の笑顔のために」プログラムを通じて途上国の人々に届けられることになりました。最終日の3日、JICAオフィシャルサポーターのクルム伊達公子さんが、JICAを代表し寄贈ラケットを受け取りました。「東レ パン・パシフィック・テニス」とJICAが協力し、2003年に始まったこの取り組み。今年も過去最多の445本が集まり、世界各地で活躍しているJICAボランティアを通じて、各国の学校や青少年団体などに届けられる予定です。

# 03 西スマトラ州パダン沖地震に国際緊急援助隊を派遣

9月30日、インドネシア・スマトラ島パダン市および周辺でマグニチュード推定7.6の大地震が発生。10月1日、JICAは救助チーム・医療チームからなる国際緊急援助隊をチャーター便で派遣しました。また、毛布やテント、浄水器など緊急物資も供与されました。

パダン市内で約3日間の捜索活動を行った救助チーム65人は、生存者発見には至らなかったもの



パダン・バリアマン県土砂崩れ現場で捜索活動を行う救助チーム

の、国際救助チームとして最も早く捜索を開始するなど、精力的な活動を行いました。

また、パダン市郊外を拠点に活動した医療チーム23人は、14日間に及ぶ活動の中で、約1450人の患者の診療に当たりました。